わくわく園庭日記

蒲幼稚園　　No.３　Ｒ３,5,21

登園時に「庭にたくさん育てているんです」と手渡してくださったのは、見たこともない大きな穂がついたネコジャラシのような植物。気持ちのいい感触に子どもたちの歓声が沸きました。「この名前ラビットテール（ウサギのしっぽ）っていうんですよ」確かにウサギのしっぽのようにまん丸くフワフワとしていて、なんといっても肌触りの良さに感激しました。是非、園の子どもたちに！と届けて下さったお母様のお気持ちが、とても嬉しかったです。ありがとうございました。

昨年、園庭の東側『よりみちはらっぱ』に移植した雑草がぐんぐんと大きくなり、様々な生き物を呼び寄せています。ダンゴムシ、バッタ、アリ…。この間はトカゲの姿も見かけました。園庭でも確実に食物連鎖が成立しており、雑草を食する生き物を狙って、トカゲなどの生き物もやってきているのですね。お宮のクスノキを目指して飛んでいくのはアオスジアゲハ。卵を産み付けにいくのでしょう。虫取り網をかざし、チョウを追いかける子どもの姿に思わず笑みがこぼれました。しかし、その後すぐ「チョウなら捕まえたことあるよ！ゲームだけどね…」と声をかけられて言葉を失いました。私たちが求めているものは、捕まえられなくて悔しい気持ちを味わう、捕まえた喜びを分かち合う、死んでしまって悲しむ、脱皮に成功し空に飛び立つ様子に感激する…実体験だからこそ起こりうる様々な出来事を体験して、たくさんの心の動きを感じてほしいのです。とはいえ、身近な環境は変わり、体験したくてもできない状態です。それだったら幼稚園に子どもにとって豊かな環境を作ろうと雑草も意図的に生やしています。昨年植えた雑草が冬を乗り越え、再び芽を出し茂る様子に、「私たちも頑張ろう！」という勇気をもらいました。「この葉っぱ、チクチクして痛いんだよねぇ」そう、そんな体験もたくさんできるといいなぁと願っています。

5月9日(日)
保護者の方と一緒に園庭整備を行いました！

＊今回、参加された保護者の方から寄せられた感想を裏面に載せてあります。是非ご覧ください！

ついにこの日を迎えることができました!!保護者の方と一緒に子どもの遊び場について考えたい！そして一緒に作り上げたい！とずっと望んでいた企画です。今回は、いろいろなごっこ遊びに活用されたり、挑戦する遊具にもなる小屋（私たちは屋台と呼んでいます）を作りました。昨年度私たちだけで作った１台と合わせて計４台となった小屋で、子どもたちは生き生きと遊んでいます。

家になったり
お店になったり
基地になったり
この間は動物園の小屋になっていました。
中にいるのはライオン？
それともかわいいおサル？

屋根に登りたい子は、登ってもいいんです。登るか登らないかを決めるのは自分。でも自分の力で挑戦！屋根の端が手前に突き出しているため、登るには体の使い方にちょっとコツが必要です。真剣に取り組んでいる後姿を、私たちはそっと見守りました。

それから…

小屋に加えて、どんな遊びにも活用できる四角い枠を作りました。複雑な形ではなく四角い枠のみです。シンプルな形だからこそ、子どもたちはいろいろな遊びを思いつき、いろいろな活用法を見つけ出していくのです。切り出した木材と共に園庭に用意しておきました。すると…

高低差をつけるために
組み立てる

樋に水を流すように木材を斜めに立てかけて水や泥を流してみたり、小屋のカウンターに並べてショーケースにしたり、動物の檻として並べたり、次々に遊びを思いついていきます。使い方は子どもたちの発想によって、いろいろです。

ピタゴラスイッチ完成！

子どもたちは、みたてたり、つもりになって遊びます。「みたて」や「つもり」は、言葉を持っている人間だけの大事な力です。柔軟な発想をもつ幼児期にこそ十分に発揮し、言葉で表現すること、他者とイメージを共有することの楽しさを味わいたいものです。

加えて…

元の砂場の枠を取り払い、フラットな場所にしました。すると、心地いい風が通り抜ける落ち着いた場所になりました。この場所を気に入った子が毎日のようにやってきます。これからの暑さをしのぐのにちょうどいいスペースになりそうです。

参加した保護者の方からこんな声をいただきました！

大人も初めてのことにドキドキワクワク

みんなで協力して作りました！

・園庭整備の理由、園の思いを直接聞けて良かった。
・先生と和気あいあいとした雰囲気の中、作業できてとても楽しい時間だった。
・井上先生のお話が聞けて、子育ての悩みが一つ解消した。
・ＤＩＹを経験できて、勉強になった。夢中になれた。
・作った屋台で子どもが遊んでくれると思うと嬉しかった。
　ぜひ、オススメしたい！
・このような機会を作ってもらえてよかった。

年少児保護者

お父さんもお母さんも
夢中になって取り組みました！

今回、夫婦で参加させてもらいました。ＤＩＹの経験が全くない私たちでしたが、先生方や参加された保護者の方と皆で作業できたことがとても楽しく、完成作品には感動と達成感がありました。

井上先生の講演も今回の園庭作りの内容だけでなく、子どもの発達段階に応じた遊具についてや身近な公園に潜む危険、木の安全性についてのお話など、知らなかったことばかりで親としてとても勉強になりました。

普段大人はなかなか遊べない園庭の遊具…参加した保護者メンバーで大きなチャレンジタワーやブランコに挑戦！子どもの気持ちになって楽しむうちに、改めて子どものスゴさも感じることができました。大人でもドキドキする高さに挑戦する子どもってスゴい！

翌日の送迎時、我が子だけでなくたくさんの子どもたちが変わった園庭に驚き、嬉しそうに遊ぶ姿が見られ、とても感動しました。我が子たちが「パパとママが作ったんだよ！」と嬉しそうにしている姿もありました。もっともっとたくさんの保護者の方たちにもこの楽しさを味わってもらいたいなと素直に感じました。貴重な幼稚園生活に関わるきっかけになる園庭作り、ぜひ参加してみてほしいです！
次回も楽しみにしています。

年少児・年中児保護者

子どもを思う気持ちは、皆、同じ！
同じ目的に向かって取り組む楽しさを味わいました。

日曜大工が得意なお父さんは、
my 道具を持って参加してくれました！

今回、私たちは夫婦で参加しました。子ども環境アドバイザーの井上先生の講演を、光栄なことに２回も聞かせてもらい、お話を聞くたびに、園庭プロジェクトから考える子どもの教育や「子どもの主体的な育ち」について深く考えるようになりました。

一日園にいて、先生と一緒に活動する機会なんて、今までになかったのでドキドキしながらも、楽しい時間を過ごしました。自分の子どもが遊ぶ遊具を自分の手で作ってあげられたのは、とても特別感があり、一緒に作った先生たちと、出来上がった喜びを共有できたことも、とても嬉しく思いました。

遊具を作ったとは言っても、作ったものは「名もなきもの」で、それをどう使って、どう遊ぶかは子ども次第。どう遊んでくれるかな？と園を訪れるたびに様子を見てしまいます。

これからも変化していく園庭が楽しみでなりません。そこに自分も関わっていきたいと思い、次回が待ち遠しいです。

年長児保護者

興味を持たれた方は、ぜひご参加ください。また、お知らせします！